

歴史民俗資料館

教育の広場

弥富市の北部にある文化財をご紹介します!!

柴ヶ森



平治元年(1159年)の平治の乱に敗れた源義朝(頼朝の父親)が知多の野間に逃げる途中に立ち寄ったことに由来します。舟に積んだ柴の下に隠れてこの地に来た義朝は、もう安心だと柴を川辺に下ろしました。その柴が芽を出して森になり、柴ヶ森と呼ばれるようになりました。

薬師寺の大楠



樹齢600年以上といわれる古木で、かつてこの葉を用いて病を治療したと伝わります。また戦国時代には、この辺りに勢力のあった服部左京亮の率いる「服部党」に対抗するため、織田氏がここに鰐浦城を築いています。

興善寺地蔵



弥富インター近くに、かつて興善寺という大きな寺がありました。創建は8世紀といわれ、織田信長との戦いで焼失し、再興されましたが地震で倒壊し清須へ移転しました。明治時代の濃尾地震の後に寺の跡地から地蔵二体が発見され、興善寺地蔵として荷之上の墓地に安置されています。

服部家住宅



創建が400年以上前の天正年間といわれる県内有数の古い民家です。服部家の初代正友は戦国時代の戦乱の後に村を復興し、以来代々庄屋をつとめました。主屋や表門などが、国の重要文化財に指定されています。
※服部家の見学には予約が必要です。

文化財の見学には、「弥富ふるさとガイドボランティア」をご利用ください。(無料、予約は歴史民俗資料館まで)

服部家住宅観月会

服部家住宅で抹茶と雅楽を楽しむ観月会を開催します!

と き 9月23日(日・祝) **ところ** 服部家住宅 (荷之上町石仏419)
料 金 500円 (小・中学生は無料)

▼ **プログラム** 午後5時 開場・受付
午後6時～ お茶会・見学会
午後7時～ 雅楽演奏会(森津保存会)

▼ **定 員** 50名

▼ **申込方法** 9月8日(土) 午前9時～ 電話にて申し込み受付
※未就学児はご入場いただけませんので、ご了承ください。

申・問 歴史民俗資料館(月・火曜日休館) ☎65-4355



集団検診で

「胃がんリスク検診」が受けられるようになりました

市では、保健センターまたは、十四山総合福祉センターにてバスでの集団検診を実施しており、さまざまな検診を受けることができます。今年度より、新たに「胃がんリスク検診」が受けられるようになりました。

自分自身の健康チェックのために、この機会に受診してみませんか。

「胃がんリスク検診(ABC検診)」とは?

胃がんの発症には、ヘリコバクター・ピロリ菌の感染と、それに伴う胃粘膜萎縮が強く関連しています。胃がんリスク検診は、血液検査でピロリ菌感染の有無を調べるピロリ菌抗体検査と萎縮性胃炎の有無について調べるペプシノゲン検査で判定し、胃がんの危険度を分類するものです。

※がんや胃の疾患を見つける検査ではありません。

対象年齢 20～65歳(昭和28年4月1日生～平成11年3月31日生)(生涯1回)
受診方法 集団検診にて行います。事前に保健センターへお申し込みの上、受診ください。(集団検診の日程は保健センターにお問い合わせください。)

受診料金 1,000円
検査方法 血液検査(ピロリ菌抗体検査・ペプシノゲン検査)

検査の対象外の方

- ・食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方または、症状のある方
- ・胃酸分泌抑制剤を服用中の方または2か月以内に服用した方
- ・胃切除手術をした方、腎不全の方
- ・過去にピロリ菌除菌治療を受けたことがある方

※正しい検査結果が得られない場合があります。



検診結果の見方

ABC分類	A群またはA1群	B群	C群	それ以外
ピロリ菌(HP)抗体	—	+	+	— (胃粘膜の萎縮が進み ピロリ菌が住めなくなった状態)
ペプシノゲン(PG)値	—	—	+	+
胃の状態	胃粘膜萎縮はない	胃粘膜の萎縮は軽度	胃粘膜萎縮が進んでいる	胃粘膜萎縮が高度
1年間の 胃がん発生頻度	ほぼ0	1,000人に1人	500人に1人	80人に1人

胃がんの危険度

低

高

(「認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機関 2014」資料より抜粋)

ピロリ菌の除菌について

○検診結果が、B群またはC群と判定された場合は、医療機関で精密検査(胃内視鏡検査など)を受けることをおすすめします。精密検査は自費診療になる場合があります。(市からの補助はありません。)
○精密検査の結果、ピロリ菌の除菌をする場合は、保険診療です。(市からの補助はありません。)

問 市役所健康推進課(保健センター)(内線412・413)